

## 総務常任委員会議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年1月17日（火）16時35分～18時18分		
開催場所	明石工業高等専門学校 本館3階 大会議室		
出席議員	委員長	辻本達也	
	司会者	辻本達也	
	記録者	尾仲利治	
	その他	林 健太 坂口光男	尾倉 あき子 永井俊作
参加人数	明石工業高等専門学校 教授1名 学生10名		
傍聴人数	学校敷地内で開催したため傍聴は不可		
主な意見・提言・要望と応答	<p>* 明石工業高等専門学校の太田教授からは「防災リテラシー教育」について、学生からは「明石高専防災団D-PRO135°の活動」について説明と報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近畿7高専で「防災リテラシー教育」を平成25年4月より実施している。</li> <li>・ 平成27年4月より「防災士」が誕生しており、現在、高専生防災士が400名、そのうち明石高専生は、約200名。</li> <li>・ 明石高専の防災士の内の有志で「明石高専防災団D-PRO135°」を結成。現在、20名。災害メモリアルアクションなどで積極的に活動中。平成29年1月8日にぼうさい甲子園で「フロンティア賞」を受賞。</li> <li>・ 防災に興味がない人にも関心を持ち楽しく学ぶ事が出来るように、ゲームを開発した。</li> <li>・ 最初に開発したゲームの反省に立ち「RESQ」を開発した。 このゲームはウェブ上からダウンロードして日本中どこでも誰でも利用できるようにした。</li> </ul> <p>* 説明と報告に対する意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絹川委員 東二見減災事業で明石高専生には大変お世話になっている。若い学生の皆さんの取り組みに感謝を申し上げたい。</li> <li>・ 尾倉委員 ボードゲーム作成するに当たってどのような点に注意したか。</li> <li>・ 学 生 ゲーム性と防災教材とを兼ねたものにするのに大変苦労した。</li> <li>・ 尾倉委員 遠方の方でも利用できるようになっているが、どれくらい利用されているのか。</li> <li>・ 学 生 調査していないが、遠方の方でも利用できるようになっている。</li> <li>・ 山崎委員 自助、公助、共助とあるが、私は自助が一番大切だと思うが、学生の皆さんはどう思われるか。</li> <li>・ 学 生 私は自助を確立してからですが、共助が大切だと思います。</li> <li>・ 学 生 防災リテラシーを学んでから、避難袋に何を入れればいいのか分かってきたが、避難先でお互い助け合いながら、支え合うことが大切ではないか。</li> <li>・ 林 委員 防災ゲームを作って何か変わってきた点が見られるか。</li> <li>・ 学 生 防災士の資格を取ってから防災に対する意識が変わってきた。私の家族も変わってきた。訓練のときでも父はライフジャケットを身につけるようになった。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学 生 私は災害に遭えば地元で「D-PRO135°」を立ち上げたい。</li> <li>・ 辻本委員長 私は公助には限界があることが分かった。自助も大切であるが共助も非常に大切である。静岡の視察先で学んだ。神戸新聞の写真が語っている。その写真には警察官や自衛隊員の姿は写っていないくて近所の人たちが力を合わせて助け合っている写真である。</li> </ul> <p><b>* 学生よりボードゲームのルール説明と、解説を受ける。</b></p> <p><b>* 各委員ボードゲームを体験する。</b></p> <p><b>* ボードゲーム体験後の意見交換</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北川委員 遊んで対応が学べるゲームになっていたように思います。小学生には少し難しいかもしれませんが。よく工夫されていますね、ありがとうございました。</li> <li>・ 尾仲委員 ゲーム性、学習性を両立させることは大切で、学んだ知識を、現実には災害が起きても生かすことは大切です。東日本大震災で被災した大川小学校では多くの小学生、教職員が亡くなられている。裁判にもなっています。このボードゲームが生かされると思いますか。</li> <li>・ 学 生 ゲーム性、学習性を持つボードゲーム開発を心がけた。遊びながら、現実に役立つと思う。</li> <li>・ 山崎委員 ルールを理解するのに少し時間がかかった、スマートフォンを利用してクイズを解いたりして面白い、さらに工夫すればよいものになるのではないか。</li> <li>・ 林 委員 このゲームは、どのくらいの時間でするものなのか。</li> <li>・ 学 生 1時間ほどですることを想定している。</li> <li>・ 学 生 本来は10ポイント先に取った方が優勝となっている。日本中どこでもダウンロードして楽しめるようにしているが、今日はそばにルールが分かる者がいて説明しているが、説明する者がいなくてもダウンロードして楽しめるように改善していきたい。</li> <li>・ 太田教授 割と楽しんでもらった。実は、今まで子どもが対象であったので、大人は初めてであったのでどうなるのかなと思っていたが楽しんで頂き安心した。</li> </ul>
--	---

明石市市議会議長 深山 昌明 様

平成29年1月17日

上記のとおり報告します。

総務常任委員長 辻本 達也